

姉葉委員、岩館委員、岡崎委員、黒川委員、高階委員からの質問への回答

問 1

県が既に開始した宮城県立精神医療センターと東北労災病院との合築に関わる宮城県と独立行政法人労働者健康安全機構との協議は、圏域毎の精神医療を考えるために極めて重要な意味をもつものと認識しており、我々委員有志はその協議内容に強い関心を抱いております。精神医療の現場において「設立母体の異なる病院の合築」という全国的にも例を見ない難しい課題に対して、二つの組織が何をどう解決しようとしているかは、今後の地域医療計画にとっても本審議会にとっても重要な問題です。にもかかわらず、これまでのところ具体的な協議内容に関する審議会へのご報告はなく、そのため実のある議論ができない状況となっています。これはまことに遺憾なことと言わざるを得ません。

そこで、我々審議会委員有志は、当該の協議内容について情報の提示を求めます。過去に行われた協議内容、及び、今後行われる予定の協議内容について、その都度審議会の場で報告いただき、それらに基づいて宮城県の精神保健福祉を真剣に議論したいと思っております。

答 1

労働者健康安全機構とは、基本合意までに必要な協議事項の確認を行いながら、具体の両病院の連携に係る事項について、両病院を交え実務的に協議を行っているところです。

具体的には、①想定する身体合併症患者層、②救急搬送時等の受入の方針、③合築の基本的なイメージの共有、共有可能な施設や設備の確認、④病院間の連携による診療報酬上の影響等をテーマとして、協議を進めていくこととしています。

このうち、①②について、精神科救急として受入相談時にこれまで身体症状も有するため受入できなかった事案への対応として、精神科救急医療ガイドライン等も参考にしながら、対応の可否や手順の考え方について、意見交換や協議を行っております。

また、①について、救急対応以外に、入院患者の高齢化に伴う様々な合併症の対応について、両病院間による連携により実現できる体制整備を目指していますが、病院間の日頃のケアやサポート、両病院が機能的に連携できる合築の在り方、往診等による医療行為に伴う責任の所在や診療報酬の扱いなど、③④に関わる課題整理も必要であり、これらについては、今後、協議を進めてまいります。

草場委員からの質問への回答

問2

前回審議会終了後の、知事囲み記者会見において、知事は要旨次のような発言をされてきました。現在もそのような認識でおられるのか本日（8月31日）の審議会の終了までの間に確認して報告されたい。すなわち、「入院機能のある民間病院を残すという案が提案されて局面が変わっているのに、審議会委員は事務局が時間をかけて練った公募案を一方的に非難しており、事務局が可哀想である」との発言がありました。

答2

多方面からの意見を反映して提案した公募案について、審議会へ意見を求めているにもかかわらず、その内容についての議論がなかったものと受け止めての発言です。

県としては、引き続き丁寧な説明を行い、提案内容について課題等があればご意見を頂戴してまいりたいと考えております。

問3

宮城県のHPを拝見すると、当審議会が前回会議において意見具申したことが分かる形になっておりませんので、報道機関まかせにせずHPに掲載するようにされたい。

答3

精神保健福祉審議会の審議結果については、議事録として掲載しております。

問4

HPには、病院移転問題について各団体からの意見が掲載されていますが、仙台弁護士会会長声明が掲載されておりました。こちらミスだと思われるので、反対意見も含めて適切な情報提供をされたい。

答4

県のホームページにおいては、当該文書は精神保健福祉審議会の箇所に令和5年5月31日開催の審議会資料として掲載していますが、病院再編の各団体からの意見の一覧には掲載していなかったため、今回、意見の一覧に追加しました。

問5

常任委員会において公表された各自治体のアンケート結果に関して、各自治体に説明した日時及び説明内容について、開示されたい。

答5

精神医療センターの富谷市への移転及び移転後の名取市への精神科民間病院誘致に関する市町村説明会については、令和5年9月7日（木）午前10時から1時間程度、Web方式により開催し、別添資料に基づき説明しました。

問6

病院修理の予算請求がどのようになっているかご報告ください。

答6

雨漏り防止等の修繕に必要な予算措置については、現在、医療現場の意見を踏まえ、県立病院機構と予算化に向けて具体的な検討を進めております。

原委員からの質問への回答

問7 県が県立精神医療センターで患者に実施したアンケートの実施方法（具体的な内容）、アンケート内容が分かりましたらお知らせください。

答7

精神医療センターの角藤院長以下、幹部に相談し、アンケート内容・方法についても、意見をいただいた上で実施しました。留意した点として、聞き取り調査だと回答しにくい人が多いことが想定されるので選択式にし、読みやすい表現としました。また、入院患者については、患者の負担を勘案して見合わせました。